

第 9 5 4 回

定例教育委員会会議録

日 時 令和 8 年 1 月 2 3 日（金） 1 6 : 0 0 ～

場 所 保健センター 大ホール

益田市教育委員会

第954回 教育委員会定例会

招集年月日 令和8年1月23日（金） 16：00～

招集場所 保健センター 大ホール

議事日程

第1 会議録の承認について

第2 教育長報告

第3 議題

報第1号 「冬休み！算数・数学パワーアップ教室」について

第4 その他

（1）情報提供

（2）その他

出席者

教育委員会

教 育 長
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員

領 家 芳 明
原 田 笑
山 本 ひとみ
森 脇 達也
大 谷 孝 司

事務局職員

教 育 総 務 課 長
教 育 総 務 課 参 事
学 校 教 育 課 長
学 校 教 育 課 参 事
文 化 振 興 課 長
美 都 分 室 長
匹 見 分 室 長
教 育 総 務 課 長 補 佐
教 育 総 務 課 主 任 主 事

齋 藤 勝 義
加 田 睦 志
田 原 正 紀
杉 原 貴 宏
田 中 一 史
澄 川 武 寿
小 林 晃
植 田 拓 也
木 東 地 志 緒 里

領家教育長 定刻となりましたので、ただいまから令和7年度第954回益田市教育委員会定例会を開催いたします。会議に入ります前に、大谷委員が12月より新たに教育委員に就任されました。前回の臨時会でもご挨拶いただきましたが、本日初めて定例の教育委員会でありますので、改めまして一言ご挨拶をお願いできればと思います。

大谷委員 皆さん、こんばんは。このたび、初めて定例の委員会に参加させていただくということで非常に光栄な機会をいただいたなと思っております。実際、12月26日から本日まで自分が思っていた以上にいろいろな参加するものがたくさんあって、4年間大丈夫かなと少々不安なところもありますけども、最善を尽くすしかないと自分に言い聞かせて努めてまいりたいと思います。再度となりますがよろしくお願いいたします。

領家教育長 どうもありがとうございます。大谷委員におかれましては、これから4年間、本市の教育行政にご尽力いただきますよう、改めましてどうぞよろしくお願いいたします。

第1 会議録の承認

領家教育長 会議録の承認についてですが、この後、皆様方にご承認を取らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

第2 教育長報告

領家教育長 私からは、12月26日から本日に至るまでの私の公務の様子が書かれております。見ていただきますと、時期が時期ですので、大きな行事も少ないですが、1月9日から本日に至るまで後期の学校訪問をスタートさせています。12月の下旬からスタートして、市内全部の小・中学校が、匹見小・中学校を1つと数えると、小学校15校、中学校が9校ですので、23校あります。そのうちの21日の豊川小学校で現在12校訪問させていただきました。前期は、学校運営や学校の様子等を中心に先生たちに見させていただき、それから議論させていただきます。後期は授業づくりということを中心にテーマに置いて、学力育成推進室の職員と私と2人で授業を30分、1つのクラスのものをずっと見させていただいて、その後、そのときにどうしたとか学校の授業についていろいろなお話をさせていただいております。今年は、去年から「気づきと対話による授業づくり」ということで子どもの

目線に立ちながら、先生が教えたことというのはもちろんですが、子どもと学びたいことを大切にしたい学習、そこに気づきが生まれ、知ったからには少し関わって深めていきたいという、対話になるのではないだろうかというコンセプトで学習を昨年来、子ども中心ということで進めております。その姿は、ご案内しております2月3日の気づきと対話あるいは新しい学びのカタチのシンポジウムにつながっていくと思います。そこで校長先生たちと議論しているテーマが2つあって、1つは教員の指導観という辺りをどのようにしていくのか。どうしてもこれまでは最後に自分たちがつくったプランに従って子どもたちが力をつけて、さあ何が分かったのと言ったときに、子どもたちの言葉でも言うけれど、最後に先生がまとめてしまって、じゃあ今日はこれでよかったですねで終わってしまうと、僕たち何を学んだのだろう、最後先生の言うことだけ聞いておけばよいかというようなことになってしまうので、そうならないような、子どもが学びたい、自分たちで今日学んだことでどんなことが分かったのかなとか、どんな力がついたのかなとか、何かそんな授業を展開できればいいなと思っています。今、保育所も一生懸命子どもたちがやりたいこと、したいことを中心に活動しておられて、それがずっと小学校、中学校、高等学校、そういうのを主に取り組むのは生活科の時間ですとか、小・中学校でいえば総合的な学習の時間、それから高等学校では探究となっていると思います。そうした力をつけながら、数学の時間でも国語の時間でもそうした学びにつながるような、先生たちも物すごく逆に言えば負荷がかかるかもしれませんが、そんな学びを積み重ねていければいいなと思っています。これが一つの新しい学びの形ということになるので、そんなことを大切に考えていくというところを議論させていただいています。そうすると、最近現場の皆さんでよく言われるのは、「結局何を子どもたちに考えさせるのでしょうか」、「どのような問いにしたら自分から気づきが生まれてくるかな」、そのようなことをすごく言われる学校の先生たちが多くいて、去年は、2人で話をしようとか3人、4人で話をしたら取りあえず対話をしたという感じがあるけど、何か少し対話の中身を深めようとか、それから子どもがもっと考えたいような問いを見つけようとか、そんなことに少し気持ちが向いておられるのがとても去年から今年、一生懸命現場の皆さんが考えてくださっている、そういうことになるのかなと感じています。半分ばかり訪問が終わったところです。後半の部分は、どんな生徒、学びに向かう生徒とはどの

ような姿だろうねという話をよくします。それはある意味同じ、益田市全体も同じだけど、中学校区でその地域の特性があつてまた違うのかなと思います。匹見の子どもたちは匹見の子どもたちで小学校、中学年が同じ環境で過ごしますが、高等学校に行くと大きな益田中学校の子どもたちと関わったときに、どのような力をつけておけばとかということがあると、中学校区で育てる姿はベースになります。いろいろ議論しながらやるのが大切なのだと思います。逆に、例えば益田東中学校の校区に行き、益田小学校の子どもと豊川小学校の子ども、そして真砂小学校の子ども、3つが3つそれぞれの規模が違う小学校から来て、益田東中学校であしたローカルプロジェクトみたいなことをするとしたら、どこが真砂なりの個性で、どこが豊川なりの個性、そして大きな集団で益田小学校の子どもたちは何を大切に育っていけばいいのかのようなことが、子どもたちを中心に考えれば考えるほどそんな姿を学んで考えていく。それは、もしかしたら地域性もあるから地域の大人たちにも、うちの小学校や中学校はこんなことを大事にしていますというのを一緒にメッセージを送りながら、同じように子どもたちに関わっていただくような、そんな姿が必要であるかもしれないというようなことが少しずつ議論の中で焦点化されてきているということを考えながら、今、学校を訪問しています。あと残り11校ほどありますので、それぞれの地域なりにいろいろな姿が聞けるのかなと思っています。そうした形の姿が2月3日の日にいろいろな学校が発表してくださるようになりますので、またそんな視点も持っていただきながら見ていただくとありがたいなと思っています。この間の私の訪問の中で気づいたところをお話させていただきました。

続きまして、1月にいただきました寄附、寄贈について紹介をさせていただきます。4件ございました。一番上の雪舟顕彰会のことにつきましては、この後、文化振興課から情報提供の場面で触れさせていただきます。2つ目は、奨学金としてそこに書いておられるお方から現金を毎年いただいております。3つ目、年忘れ益田市民余芸大会実行委員会チャリティーショーでいただいたものは、学校施設の整備基金として現金をいただきました。一般社団法人ぬくもりの里二川というのは、柴犬のルーツ石号の物語を絵本にされていました。それを市内の小・中学校全ての学校の図書館に配架する図書として寄贈をいただきました。この4件が、この間の寄附、寄贈でございます。私の公務につきましてと寄附、寄贈につきましては以上とさせていただきます。

第3 議題

報第1号

領家教育長

「冬休み！算数・数学パワーアップ教室」について

では、今日の議題に入ってまいります。本日の議題ですが、報告案件1件となります。それでは、報第1号「冬休み！算数・数学パワーアップ教室について」、事務局に説明を求めます。

杉原参事

毎回の小・中学校の長期休業中に行っております算数・数学パワーアップ教室について冬休みも開催いたしましたので、ご報告いたします。

令和3年度からこの事業スタートいたしまして、最初は島根大学のみのご協力ということでしたけれども、現在、松江工業高等専門学校、それから島根県立大学にも協力をいただきながら開催をしております。冬休み、例年ですと冬季休業が始まった初日から3日間の開催ということでございましたが、今回は土日が絡む関係で会場がうまく確保できずに2日間の開催ということになりました。場所は、市民学習センター多目的ホールで行いました。

参加者は、島根大学の学生が9人、それから松江工業高等専門学校の学生が5名です。当初は、16名の学生が参加予定でしたが、当日の悪天候のためJRが運行しないということで、前日の夕方にこちらへ向かう学生が来ることができなくなってしまったため、今回14名の参加ということになりました。リピーターの学生が9人ということで、学生にとってもすごく人気がある会になっております。小・中学生ですけれども、小学生が申込み56人、中学生が19人です。これも土日少しほかの企画等があったりもしてそちらのほうに参加する子どもたちもいて、例年より若干少なくなっておりますが、こういった数の児童生徒が参加をしてくれました。

アンケートの結果については、資料のとおりになっております。参加のきっかけで残念なことに先生が、学校の勧めというのが小学校も中学校もなかったところが少し残念かなと思っておりますので、次回春休みでは学校からもしっかりお声がけをしていただけるといいかなと思っております。大体肯定的評価がとても高く、90%を超えている結果になっております。資料の2枚目には、学生からの気づきを上げていただいております。基本的には意欲的に取り組む子どもたちがすごく多かったということでもありますけれども、反面、集中力が続かない子どもがいたということです。毎回、こういったことが課題になっておりまして、今

回、子どもたちはじっくりコースとぐんぐんコースと2つのコースに分かれての学習をしたりして工夫をしたりもしたのですけれども、やはり親、家族の勧めで来た、特に小学生はなかなかモチベーションが上がらなくてというところもあったり、今回、例年だと3日間の開催ですと学生による企画を必ず1こまずつ、計4こま実施するのですけれども、今回はそういった時間が取れなかったということで、子どもたちが個人的な学習をする時間というものすごく多くなってしまったので、そこら辺を春休みに向け課題が残ったかなと思っております。活動内容については、このようになっております。毎回、中学生にはオンライン数学相談を企画していますが、希望者はありません。学生にじかに会って教えてほしいという子どもたちが非常に多いというのが原因かなと思います。報告は以上です。

領家教育長

ありがとうございました。ただいま説明した件につきましてご質問等がありましたら伺いますが、いかがでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。

教育委員

＝全員了承＝

領家教育長

それでは、この件について終わりとさせていただきます。

本日予定しておりました議事全てが終了いたしました。これを持ちまして第954回益田市教育委員会定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。お疲れさまでした。

＝終了時間 17時00分＝